

令和5年度 シラバス

教科	情報Ⅰ	科目	情報Ⅰ	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	図説情報Ⅰ（実教出版）					
学習の到達目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度		
	情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。		情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。		
評価の方法	上記3つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、課題等の提出状況、ルーブリック自己評価表等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	序章 情報社会と私たち 1章 情報社会と問題解決 ・問題解決 ・情報セキュリティと個人対策 2章 コミュニケーション情報デザイン ・情報デザインと表現の工夫 3章 情報とコンピュータ ・コンピュータのデジタル表現		・匿名性の特徴、ネットワーク上のルールとマナー、情報の受信者・発信者としてのモラルと責任について学ぶ。 ・問題解決の意味を理解し問題解決の流れについて学ぶ。 ・個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利（プライバシー権、肖像権、パブリシティ権）について学ぶ。 ・身のまわりにある、文字や音声、図やイラストによる情報で使われている工夫について学ぶ。 ・アナログ・デジタル・デジタルデータの特徴（情報の正確な再現・情報の容易な加工）について学ぶ。			
後期	4章 アルゴリズムとプログラミング ・アルゴリズムと基本構造 ・プログラムの基礎 5章 モデル化とデータの活用 ・モデル化 ・データの活用 6章 ネットワークと情報システム ・ネットワークの仕組み ・情報システムとサービス		・アルゴリズムの基本構造（順次、選択、繰り返し）、プログラム構造について学ぶ。 ・プログラムにおける変数の役割について学ぶ。 ・図的モデルの表現方法を理解し、簡単な自動販売機の動作をモデル化する。 ・データの活用の手順や方法について学ぶ。 ・インターネットに接続するための機器と通信の規則について学ぶ。 ・情報システム（POSシステム、トレーサビリティ）の仕組みと、データの流れについて学ぶ。			